

自昭和十九年三月一日

至昭和十九年三月三十一日

陣中日誌

22215

獨立步兵第五大隊第五中隊

FD
655 中
中

十一月一日晴

於北谷農民道場

演習 戰鬥各個教練ヲ實施ス

傳達式 中隊長精神訓話ヲ舉行ス

精神訓話 中隊長精神訓話ヲ實施ス

歸 隊 隊本部於初年兵通信連絡手基本教育被教育中ノ本

本二軍兵以下三名歸隊ス

日 命五石九六日命第一四號

別紙ノ通り

勤 務員 日直士官

金山准尉

週番下士官

川口兵長

同 上等兵

百瀬三義

部隊衛兵

五名

天倉中尉

七名

現 員八員



石九六日命第一四號

石第三五九六部隊日々命令

一、第五中隊

陸軍上等兵

同

同

同

同

石者陸軍兵長ヲ命ズ

二省

三省

四省

五省

六省

北谷國學一校
高橋徳藏
米谷久四郎
林文代
(以上上月一日附)

略略略略略

十二月二日晴

於北谷農民道場

移動準備一移動準備ヲ實施ス

演習ヲ持久駐歩隊ニ銃剣術ヲ實施ス

命 課長齊藤(昌)上率共以内前彈藥庫衛兵ニ注意員ヲ命ゼラレテ出發ス

ス

作 命四石五作命率三號率三號

別紙ノ通り

勤 務五勤務員 日直士官

神谷見習士官

週番下士官

齊藤兵長

同上等兵

半澤善枝

現 員六人 員 天倉中尉下

トト石



一五五作命第四六號

獨立歩兵第十五大隊命令

平二二二二〇〇上

一旅團、師團、企圖ニ基キ現防衛ヲ移讓シ新作戰態勢ヘ、轉移ヲ準備ス

二大隊、現防衛任務ヲ交代部隊ニ移讓シ新作戰態勢ヘ、轉移ヲ速ニ準備セントス

三各隊、現防衛任務ヲ移讓スルト共ニ別紙要圖ノ地區、防衛ヲ擔任シ新作戰態勢ニ轉移スルノ準備ヲ實施スベシ

四防衛任務移讓及轉移實行ノ時期ハ後命ス

五細部ニ關シテハ一五五作命第四四號同四三號ニ準據スベシ

下達法 印刷交付
配布区分 各中隊IPTL各室(参考62D64B)

大隊長 山本 大佐

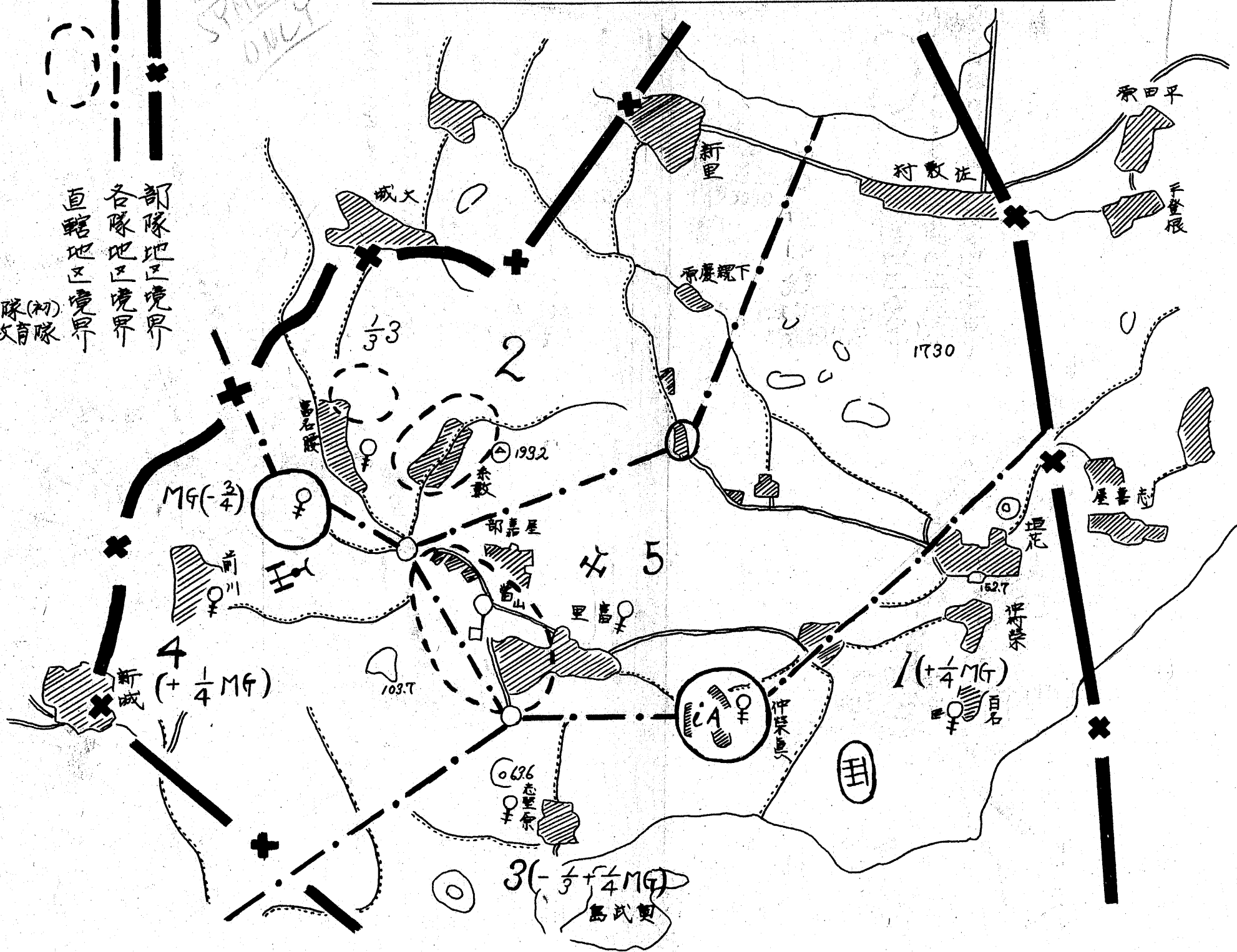
山本信地区防衛任務區域要圖

25000

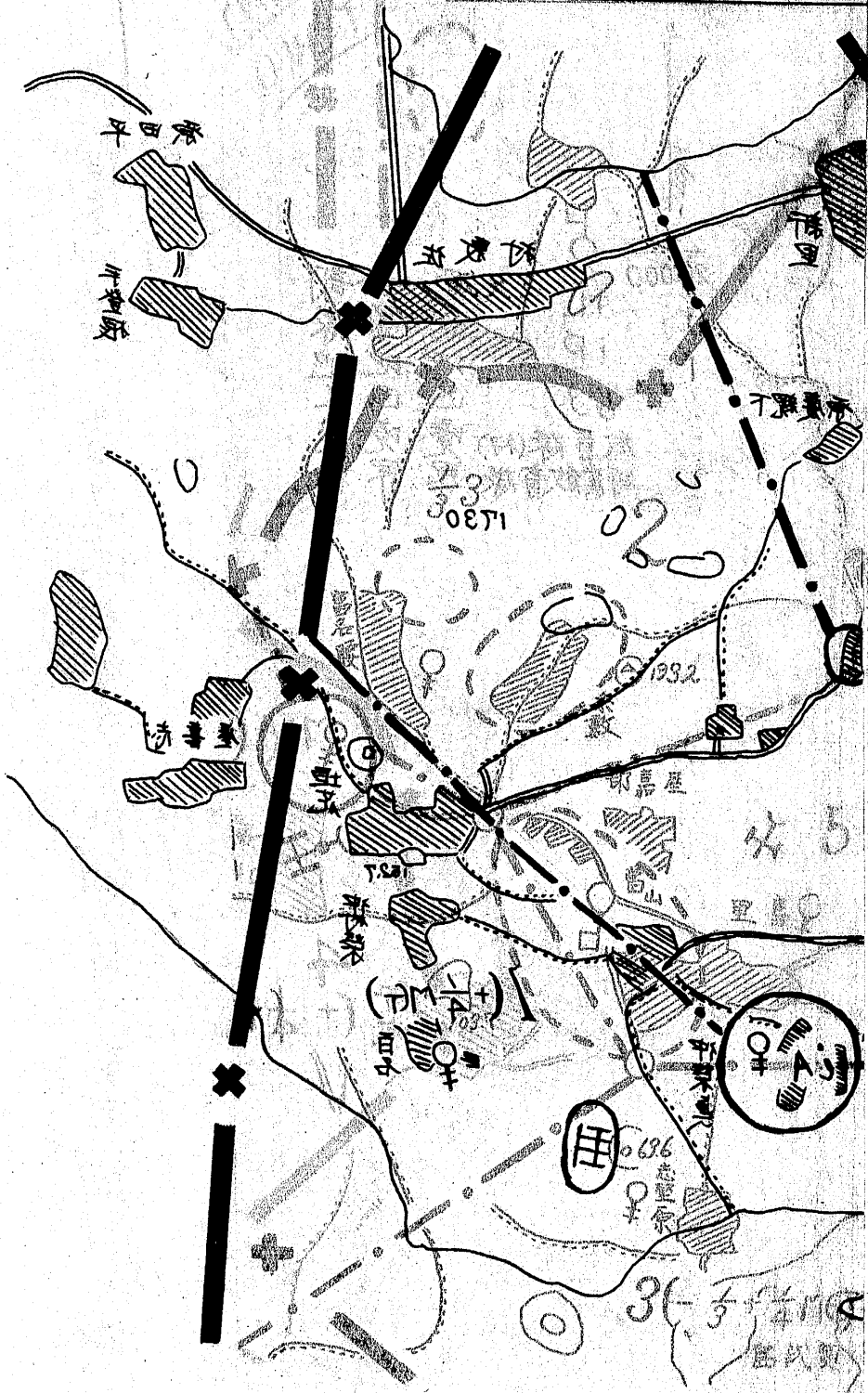
TL
IP
53
教育隊(初)
特務教育隊

部隊地区境界
各隊地区境界
直轄地区境界

DO
SYMBOLS
ONLY



蘇浙新野圖本



石五作命第四七號

獨立步兵第五大隊命令

一 旅團、又日没後各々現在地出發新防衛地區ニ轉

移ス

二 經路、伊佐—牧港—泊—國場—袖里

三 大隊ハ主力ヲ以テ又日一九〇〇平安山、上出發前項道

路時限ニヨリ行軍シ概ネ廿日朝迄ニ玉城村國民學校ニ

到着シ新防衛態勢ニ轉移セントス

四 各隊ハ左記、如ク集合シ三梯團ヲ以テ玉城村ニ向ヒ前進シ

五 新防衛態勢ニ轉移スヘシ

六 集合場

北台國民學校 一八四〇 〇〇 TLIP 教育隊 〇〇 〇〇 MG IA 圖

桑江十字路 一九一〇 〇〇 〇〇 〇〇

又右梯團區分(全行軍序列)

一 隊隊長大隊長 日 TL 教 1.5.4.2. ↑ 300米 (第一國里間)
 二 隊隊長 須川中尉 MG, IA ↑ 300米 (那霸中通過)
 三 隊隊長 松島少尉 3台 IP, 車馬 2台 3台 (那霸中通過)
 各隊隊距離 ----- 300米
 四 先發 後發 關シ六 別命ス
 五 又日 後命ス
 六 細部ハ 別紙ニ示ス
 七 予ハ 廿日朝五城村國民學校ニ到ル
 大隊長 山本大佐
 下達法 印刷交付
 配付区分 各中隊 IP TL 各差 (参考 62D 64B)

十二月三日 晴

於北谷農民道場

演	習ヲ得久駐歩些戰闘各個敵隊ヲ實施ス	別紙ノ通り
作	命三 天作命第六號	別紙ノ通り
日	命四 石丸日命第一四五號	別紙ノ通り
勤	勤務員 日直士官	水崎中尉
	週番下士官	齊藤伍長
	同上 上等兵	半澤高枝
	砂邊監視哨	八石
現	員六人 員 天倉中尉等	七石

天作命第六號

中隊命令

- 一、中隊、右ノ五作命第六號ニ基キ現防衛任務ヲ交代部隊ニ移譲シ新作戦態勢ヘ轉移ヲ準備セトス
- ニ、工事用諸資材、整備ヲ充分ニテシ且木材伐採土地借用等、整理ヲ確實ニ實施シ遺漏ナキヲ期スベシ
- 三、陣地、偽裝ニ関シテハ更ニ強化スベシ
- 四、特ニ防諜ニ注意シ企圖、秘匿ニ遺憾ナキ様留意スベシ
- 五、予ハ農民道場ニ在リ

北谷農民道場

中隊長

天倉中尉

一九二六年命令第一四五號

右第三五九六部隊日々命令

北谷國良學三校

一省

略

二

陸軍軍曹

畑山榮太郎

任陸軍曹長

同

植田賢二

三

陸軍伍長

伊藤長守

任陸軍軍曹

四省

略

陸軍兵長

川口與志雄

五省

略

同

齊藤儀治

任陸軍伍長

七八九〇一二二三三四省略

五、第二中隊附 陸軍曹長
 第五中隊附 陸軍軍曹
 同 陸軍伍長
 同 同
 同 同
 石者頭書、中隊附ヲ命ス
 陸軍曹長
 任陸軍准尉

小林長榮
 石崎秀義
 東山君
 川口與志雄
 齊藤儀治
 (以上上月一日附)
 中村經晴
 (元月及十二日附)

十二月四日 晴

於北谷農民道場

現	勤	日	退	歸	演	移動準備	移動準備
員七人	勤務員	命五元六日命第一四六號	院四等兵五訂隊野戰病院入院中、村上衛士上等兵退院歸隊又	隊三訂前陣藥庫衛兵要員、和四等兵歸隊又	習三訂對戰車肉迫攻撃、對戰技術訓練、射擊操行ヲ實施ス	移動準備	移動準備、實施ス
天倉中尉以下	部隊巡察下士官	別紙、通り	村上衛士上等兵退院歸隊又	和四等兵歸隊又	射擊操行ヲ實施ス		
七	小野伍長	金山准尉					
石	齊藤伍長	半澤富枝					

石九六日命第一四六號

一 石三五九六部隊日々命令

一 免第五中隊

陸軍一等兵

命令

同 上等兵

石若依團司令部勤務ヲ免命ス

(十一月二十三日附)
北谷 國民學校長
奥山 金市
橋本 若三

二 省 略

三 五、通り部隊巡察將校ニ服務スベシ

十二月六日

神谷 見習士官

四 省 略

五 本職明五日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ陣地偵察ノ爲鳥尻郡

屋嘉部ニ出張ス

本部附將校(軍醫主計各一名)副官並ニ各中隊長ハ本職ニ隨

行スベシ

依テ七時五十分迄ニ本部前ニ集合スベシ

服装ハ單獨ノ軍装トシ晝食携行ノコト
 六省 略

十二月五日 晴

於北谷農民道場

移動準備	移動準備ヲ實施ス
陣地偵察	陣地偵察ニ出テ九時五分歸隊ス
演習	習ニ應用体操ヲ實施ス
轉出	出ルニシテ隊長以下三名新警備地區陣地偵察ニ出テ九時五分歸隊ス
轉入	入ルニシテ隊長以下三名新警備地區陣地偵察ニ出テ九時五分歸隊ス
勤務員	勤務員
現員	現員



部隊巡察將校 神谷見習士官
 日直士官 水崎中尉
 週番下士官 齊藤伍長
 同 上等兵 半澤富枝
 天倉中尉以下 八〇名

十二月六日 雨

於北谷農民道場

移動準備、移動準備、實施ス

午後、陣地内、材木運搬ヲ實施ス

先 發 煙曹長以下各新警備地區ニ向テ先發ス

作 命 四石五作命第四九號 第五一號

日 命 六石九日命第一四八號

勤 務 勤務員、日直士官

現 員 八人 員、同 上專兵

天倉中尉以下

七 八 名

別紙、通り

別紙、通り

別紙、通り

神谷見習士官

齊藤伍長

半澤高枝

七 八 名

一石五作命第四九號

獨立歩兵第十五大隊命令

平安山、一〇〇〇上

一新駐地富山屋嘉都、富里ニ、傳染病發生シアリ

ニ、大隊八石十五作命第四六號ニ拘ラス當分、間左記ノ如ク宿營

セントス

左記

大隊本部、通信班

作業小隊、教育隊

第五中隊

三、宿營ニ當リテハ防衛擔任地區中隊長ト協定スベシ

大隊長

山本

大

佐

下達法、要旨口達後別交付

配分、各中隊IP、教育隊 620 64B

富 名

系

玉

腰 數 城

石十五作命第五一號

獨立歩兵第五大隊命令

平ニ安山ノ一ニ〇〇

一、大隊ノ輸送計畫ニ基キ部隊ノ軍需品及ハ隊屬貨物ノ輸送並ニ新駐部隊ノ引継ヲ實施セントス

二、遠藤大尉ノ後發隊長トナリ別紙差出兵カヲ併セ指揮シ前項任務ニ服シタル後連ニ部隊ニ追及スベシ

三、大隊本部及ビ各中隊長ハ別紙差出兵カヲ明セ日一九〇〇以降遠藤大尉ノ指揮ニ入ラシムベシ。自今之ガ宿營給養ハ後發隊長擔任スベシ

四、輸送並申送りノ細部ニ關シテハ遠藤大尉ヲシテ指示セシム

大隊長

山本

大

佐

下達法 口達後印刷交付

配布区分 各中隊 IP 各室 62D 44B

天作命第七號

中隊命令

北谷農民道場

一中隊ニ右十五作命第四號ニ基キ明セヨ。北谷農民道場ニ
發北谷國民學校ニ集結第一梯團トナリ新防衛地區ニ
前進セントス

二行軍(原藏)列左記ノ如シ

左記

指揮班 第一小隊 第二小隊 第三小隊

三水崎中尉以下十四名ハ後發トシテ七〇一。以降本部遠藤大
尉、指揮ニ入ルベシ

四佐藤(亮)中尉兵以下三名ハ行李監視トナリ第三梯團江崎曹長
、指揮ニ入ルベシ

五其他細部ニ關シテハ別紙ニ據ルベシ
六予ハ北谷農民道場ニ在リ

中隊長

大倉中尉

天作命第一之號別紙

一、服 裝 完全軍裝

二、携行彈藥左、如シ

小銃 六。

輕機 一。

重擲 一。

三、携帶口糧ハ甲ニ日 乙一日トシハ日朝食ニ行對トシ各

人薪二本携行ノコト別ニ日行季トシテ携行)

四、築城器具、必要書類、糧秣、本部ヨリ配當セラル、馬車

二輛ニヨリ携行スベシ

石九六日命第一四八號

石三五九六部隊命令

山谷ニ國民學校

一省

略

二

陸軍中尉

水崎正之助

三省 敘從七位

(以上十月一日附)

四省

略

五省

略

六

略

各隊ハ左記通り明七日十時迄ニ國場設營者ヲ差出シ本部

石川准尉ノ指揮ニ入ラシムベシ

左記

本部下士官ニ兵一通信作業小隊兵各一教育隊下士官一兵ニ

ハスルヤ、所中隊兵各一、以下士官各一

七省 略

八設營者、服裝、個人裝備ヲ完備シ、昼食ヲ携行スベシ

二月七日 雨

於松本農道場—國場

先	發	白石兵長大塚止地湯茶補給準備並設營、爲先發ス
後	留	水崎中尉以下七名、北谷村ニ殘留、遠藤大尉、指揮スラシム
移	動	五時中隊長以下六名、新警備地區ニ向ヒ出發ス
現	員	四人 員 天倉中尉以下 六三 名

二月八日晴

於國場—玉城二區

一時分國場到大林止先發中白石兵長ヲ掌握ス四野同地
出發七時半分新警備地區ニ到着玉城二區ニ指營ス

二玉城二區ニ先發中畑中曹長以下三名ヲ掌握ス

作 命三 天作命第八號

日 命四 石九六日命第五〇號

勤 務五 勤務員

日直上官
週番下上官

別紙ノ通り
別紙ノ通り

同 上等兵

齊藤伍長
藤田三太郎

現 員八 員

天倉中尉以下

六 七 名



天作命第八號

中隊命令

玉一ニ、城ハ、一〇七〇區

一、富里周邊ニハ傳染病發生シ現在猖獗ヲ極メアリ

二、中隊ハ石十五作命第四九號ニ基キ當分ノ間玉城ニ宿

營ス

三、各小隊ハ先發者ノ指示ヨリ天々指營スベシ

四、防疫其他ニ関シハ別ニ指示ス

五、予ハ部落東端ニアリ兩後第一小隊ヨリ巡視ス

中隊長

天倉

中

尉